

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	舞台総合実習	
開設学科	声優・演劇科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	120時間
単位数	4単位		授業形態	実習			
教科書/教材	修了公演用台本。						
担当教員情報							
担当教員	笹倉舞・磯辺万沙子・西久保治好			実務経験の有無・職種	有・俳優　女優　演出家		
学習目的							
総合芸術である演劇の、1つの完結できる作品の中で、通してキャラクターを持ち、その作品の中で成長し、他者の人生を生き続けることが重要である。リアリティーのある感性、観客に台詞を正確に届けることが出来る声のボリュームと滑舌、相手役やシーンの出演者への開いた心と受け取る力等、基礎演技Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで学んだ基礎を生かして、キャラクターの人生を表現できるかを体現し、1年間の集大成として公演（成果発表）を通し、自己を見つめ、自己を発見し、自己を鍛える。それこそがこの科目の最大の目的である。							
到達目標							
声優・演劇科の基礎授業の中で、まず、役者の仕事に耐えられる社会性を持つこと。タフな精神と肉体、そして開いた心で誰からも愛される役者となること。コミュニケーション能力と礼儀正しい人物であること、実力を兼ね備える役者となること。一つの演劇作品を通して、自己を見つめ、自己を発見し、自己を鍛えることが最大の目的であるため、その目的に一步でも近づくことを到達目標とする。							
教育方法等							
授業概要	前期後期で学んだ演技の基礎を基に、クラス全員が心一つにして作品を作り上げ、それを舞台で発表することを前提とする。キャスティングに基づき各自役作りすると共に、衣裳、小道具、演出助手等、舞台作りに必要な役割も分担して行う。最終的に観客に作品を発表し評価を得ることで、達成感や満足感を得、それと同時に、これからの自分の課題などを発見する。						
注意点	最終的に舞台発表を目指すものであるから、その為に必要な事を各自が責任を持って実行することが求められる。キャスティングされた役に全力で取り組み、協力、協調すること。役割分担の仕事も責任をもってやり遂げる。舞台発表において最も重要なのは、体調の自己管理である。取り組み方に熱意や誠意が感じられない者はキャスティングの変更、降板もあり得る。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備　考				
	試験・課題	60%	公演終了の時にどこまで成長したのかを総合的に評価する。				
	平常点	40%	公演発表に向けて、チームの中での貢献と、参加態度から評価する。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	立ち稽古（1）		空間と場面を認識する。				
2回	立ち稽古（2）		各シーンに分けて稽古を行い、自分の役としての与えられた役割を理解する				
3回	立ち稽古（3）		相手役との関係を確認し各シーンを成立させる				
4回	立ち稽古（4）		道具や衣装から得られるイメージを確実にする				
5回	立ち稽古（5）		各シーンを積み上げることで、キャラクターの深層をつかんでいく。				
6回	小返し（1）		改めて各シーンを振り返り、ブラッシュアップさせる				
7回	小返し（2）		改めて各シーンを振り返り、ブラッシュアップさせる				
8回	小返し（3）		改めて各シーンを振り返り、ブラッシュアップさせる				
9回	小返し（4）		改めて各シーンを振り返り、ブラッシュアップさせる				
10回	小返し（5）		衣裳・小道具に不備がないか最終的に確認する				
11回	通し稽古（1）		全体の流れをしっかりと確認する				
12回	通し稽古（2）		初めから最後まで通し、問題点を提示し合い解決する				
13回	通し稽古（3）		初めから最後まで通し、課題をクリアーする				
14回	通し稽古（4）		積み上げたシーンを繋げていけるか、通した芝居の中で自分の役割を果たしているか確認しつつ積み上げる				
15回	舞台稽古・リハーサル		本番同様に通し、問題点の提示・解決を行う				

授業計画（16回～18回）

[illegible]